

○15日の行進 津市→亀山市

午後1時、県庁から13人で出発。落合さんも不自由な身体を押して宣伝カーに乗ってくるのがありがたい。が、14日の行進と変わらず、今日も津市の参加者がたいへん少ない。忙しいとか歳だからとかいろいろあるけれど、他の市町の行進はみな気合を入れて成功させているのになぜ県都の津市だけが少ない。コープみえの参加者がいなければ津市は行進も集会も目も当てられない悲惨な状態。

「ヒバクシャ国際署名をすすめる三重県民の会」の準備もすすめながら、県の事務局長が参加者の送迎や亀山までの宣伝カーの運転手で振り回されていては県全体の運動に責任がもてない。津市原水協の再建は急務です。

一身田の休憩所で18人の行進になる。途中、また宣伝カーの音量に対して男性からクレームがきた。田中の集中力が切れていたのがまずかったのだが、住宅街で絞り気味に、そうでない所は少し上げるというキメの細かい操作が必要で、そのためには運転手と別に助手が必要です。高田本山まで歩き、そこからクルマで芸濃町へ移動。面影の残る旧街道を少し歩いて、またクルマで亀山天神町へ。

出迎えの方たちと合流して20人で市役所へ。津と亀山は参加者数が変わらない。三教組からも1人が自主参加。途中、「沿道チラシ」をしっかりとまいて歩く。市役所前では市立西小学校の10人の教職員たちが拍手で出迎えてくれ、うれしかった。市庁舎内で市主催の歓迎式がもたれ、30人が参加。亀山市は事前に何度も県に問い合わせがあつてよく準備されているし、お茶の接待もあり、職員さんの心配りが感じられる。議会が休会中だったのが幸運。市長、議長からもそれぞれいい挨拶を頂いた。

落合さんは共謀罪法案が暴力的採決された歴史的な日の行進になったとスピーチ。民主主義の破壊に満身の怒りで抗議すると力強く訴え、職員も含めた参加者のみなさんの胸を打っていた。

○「署名付き沿道チラシ」が連日、県事務所に届いています。これまでに23筆。切手を貼って封書で送ってこられる方も少なくありません。「核兵器の廃絶」は文字通りの国民的共同だということをあらためて実感します。伊賀と名張でもぜひがんばってまいってください。
○16日は亀山から伊賀の里へ。オーディオも今年は好調。

○「ヒバクシャ国際署名をすすめる三重県民の会」の（よびかけ人）が9人になったので、7月12日（水）の設立総会でスタートします。13:30・津市教育文化会館。よびかけ人は県内の著名人です。長崎市長からもメッセージを頂戴済み。その後、15:00から同室で「第2回世界大会・平和行進三重県実行委員会」をもちます。できるだけ設立総会から参加してください。